

平成27年度第6回「知事と一緒に生き生きトーク」の発言要旨

- 1 テーマ：外国人が感じる岡山の魅力とその発信
- 2 日 時：平成27年11月18日（水）
- 3 場 所：岡山国際交流センター
- 4 参加者：留学生や県内企業等で働く外国人など、岡山に在住の外国人の方々：8名

5 知事あいさつ

外国から岡山にお越しただいてそれぞれの分野で活躍されている皆様が感じる岡山のいいところ、悪いところ、また、岡山をいかにPRしていくのか。皆様の国や文化が似ている人たちにPRしていくためには、ここがもったいないな、ここを直すだけでずいぶん印象が違うとか、PRはこういうやり方がいいなど、意見交換をさせていただきたい。

6 岡山の魅力やその魅力を世界に発信するための方法等

- ・ 岡山にも豊かな歴史や文化があるのに、外国の方に知られていない。日本最古の庶民学校である閑谷学校や矢掛の大名行列がある。特に、牛窓は韓国通信使ゆかりの土地で、韓国の歴史教科書でも学ぶことだが、そんなに知られていないことがもったいない。
- ・ 岡山には文化遺産や歴史にまつわるスポットが多い。閑谷学校、日本刀の長船、備前焼などがあげられるが、観光に来る外国人がどこまでその情報を先に調べて、それを見にくるかが大きな課題だと思う。岡山に来てどこに行こうかでは遅い。
- ・ 岡山に長い間住むと岡山の良さが分かるが、海外の人は住んでいないので、岡山の良さを知ってもらうためには、現地でのPRが大事。
- ・ 岡山は良い観光スポットがたくさんある。もっと世界中に周知したら良いと思う。色んな場所に行って、体験型の観光ができると良い。体験すると口コミで広がる。
- ・ 岡山は食べ物が美味しい。岡山県の名物をもっと中国の富裕層などに向けて輸出したらいい。ももやぶどうをもっと宣伝すれば、農家も元気になる。積極的に売ろうとしたら良い。
- ・ 岡山にくる目的のひとつに自然環境などがある。岡山観光協会でディスティネーションキャンペーンの新しいビデオを作っていたが、それを見て岡山にそんな綺麗な場所があるのかとびっくりした。こういった努力がもっと多くあれば外国人にアピールできると思う。
- ・ おかやま旅ネットにたくさん観光情報があり、特に瀬戸内海のHPが綺麗に作ってある。岡山と瀬戸内海のつながりをつくりながらアピールしてはどうかと思う。
- ・ 外国人は農家や農場など日本人が興味を持たないような文化にも興味がある。
- ・ 岡山は料理が美味しい。倉敷の味噌カツは特に美味しいと思うが、日本人に教えてもらったものではない。もも、ぶどうはすぐ教えてもらえるが、味噌カツのような料理ももっと教えてほしい。また、岡山市内にも温泉があるが、調べてもわからないので外国人は近くにあることを知ら

ない。有名な温泉でなくても良いので、日本の普通の文化として、教えてくれたら良いと思う。

- ・ ごちそうとしての豪華な食べ物ではなく、いつも食卓に並ぶような食事を食べたい。また、その料理をどうやって作るのかも知りたいと思っている。日本に滞在している外国人は、日本料理が好きでもそれを作る方法は思い浮かばない。作り方を学ぶことができれば自分たちでも日本の家庭料理を楽しむことができる。
- ・ インターネットやSNS で情報発信するためには、ネットに載せただけではだめだ。岡山を紹介するビデオに良い物があまりない。インターネットで岡山を調べる人はローマ字で検索する。ネットに掲載するだけではなく、どう広げるかを考えて取り組まないといけない。
- ・ 岡山県の良さを発信するコンテストを行い、外国人を含めた県民からいいアイデアを集めて、そのアイデアを行政が県民と一緒に実施すると、活性化、国際化のためにいいと思う。
- ・ ニュージーランドでは祭やイベントを知らせるようなアプリがある。日本の祭やイベントはたくさんあるが、何があるのか把握できない。そういったイベント等を知らせるためのスマホのアプリがあったらよい。
- ・ 大阪では来年の4月でも空いているホテルが少ない。岡山ー香港線の定期便は難しいかもしれないが、毎年の観光の多い時期だけでも便があればいい。
- ・ 岡山の観光地はあちこちにあって、交通の便が不便。後樂園や倉敷美観地区は行きやすいが、蒜山、奥津温泉などは外国人にとって行きにくい。
- ・ 香川県であれば、うどんバスのようなツアーバスがあり便利だ。岡山は通常のバスを使って移動するしかない。例えば、月曜日は蒜山と湯原温泉、火曜日は牛窓界限など、曜日によってプログラムを決めてツアーバスを運行してみてもどうか。
- ・ 一番大事なのは移動方法だ。岡山に留学生は多いが、蒜山や備前に行こうと思ってもまず、バスがない。車は持っていない。国際ライセンスがあっても、日本の道路は走行が左など運転するのは怖い。道も狭いく、車の利用は難しい。午前中は蒜山、午後は備前などのツアーバスがあれば、みんな利用すると思う。
- ・ 岡山は地理的に戦略的な位置にある。岡山をベースキャンプにすれば、2時間で広島、大阪、京都、奈良、鳥取にも行ける。県内、市内の観光スポットに行くのは不便かもしれないが、都市間の移動は便利である。観光スポットの情報を提供するとともに、岡山をベースに近県の観光地等を効率よく回れるプランを提供するのもひとつの手である。
- ・ 岡山を訪れる場合、関西空港経由で来る外国人が多いと思うが、観光客の場合、関西ワイドエリアパスを使えば、岡山まで新幹線で来れるのがうれしい。ただ、関西ワイドエリアパスは範囲が岡山までであり、それより西には行けない。岡山を中心にした交通パスを作ってそれより西にも行けるようにしてはどうか。
- ・ 観光地を簡単で安くまわれるような割引券やパッケージが必要。歴史と温泉ツアーなど。言語の問題もある。中国語、韓国語、スペイン語などを話せる人が一緒に行くか、案内してくれれば特に良い。綺麗な海や山もある。いろいろなプランを作って、インターネットなどで世界に発信

したら観光客が増えるのではないかと思います。

- ・ 観光地に行く際に、自動車専用道路だけではなく、歩いたり、自転車でいけるような道路があったらいい。
- ・ イスラムの国の人にとって岡山は、ハラルや礼拝堂がなく不便である。そういうのがあれば、京都から広島に行く間に岡山に降りてもらえるのではないかな。
- ・ 東南アジアの国々の旅行者は日本に長期間滞在して、普通の日本の生活を知りたいと思っている。長期間滞在するとお金がかかるが、質素でも良いので安くて、自分で料理ができる設備があるような宿泊施設があったらいい。長期間滞在する場合は、宿泊する場所が課題になる。
- ・ 北海道で多くのオーストラリア人が別荘を買っているというテレビを見た。例えば、古い民家を改造して宿泊できるようしたり、外国人が土地を買って別荘を建てれるシステムがあれば良いと思う。
- ・ 岡山の観光地等において、携帯で自分を撮影する際に背景がきれい入る箇所をマップ（セルフイマップ）にしてはどうか。そのマップがあれば、効率的に観光地の施設等をまわることができる。
- ・ オーストラリア政府が取り組んでいる観光施策で、高画質の自撮り撮影サービス「GIGA Selfie」というのがある。撮影スポットを設置し、遠方の高画質カメラから風景等と一緒に自撮りするものだが、こういったサービスを岡山で実施してみてもどうか。
- ・ アメリカでは、飛行機等を待っている時に「welcome to america」というビデオが流れる。是非、岡山でも作ってほしい。岡山のきれいな観光地を動画で流し、最後に岡山に住んでいる外国人を使って、多言語で、「welcome to okayama」流せば良い。
- ・ フリーワイファイができる場所をもっと増やしたら良い。ワイファイが使えないと、観光地等を調べる方法がない。有名な街を歩くときにはワイファイが使えるようにしてほしい。
- ・ 中、長期的な視点になるが、インターナショナルスクールを作れば良いと思う。広島にも神戸にもあるので、そろそろ岡山にも必要ではないか。岡山県の良さを世界に発信するためにはグローバル人材を育成するといい。ダブルの子どもと日本人の子ども、外国籍の子どもと一緒に勉強すると思う。
- ・ 岡山の人には外国人に対して、まだ、恐怖心があるように思う。国連が進めているグローバル教育をできるだけいれて、共生社会でみんなが住みやすくなるよう教育を進めてほしい。

7 知事のまとめ

- ・ 本日は、皆様方から様々なアドバイスをいただくことができた。まだまだ、できることがたくさんあることがわかった。お聞かせいただいた内容は関係部局に伝えさせていただき、可能なものは反映するなど、今後、県政を進める上での参考にさせていただきたい。